



# 出かけてみませんか ぶらり裏みち散策

山中区の裏道を散策し地域の歴史を感じる約6キロ弱の散策コースです。

所要時間約2時間。

山中諏訪神社をスタートし、約1,200年前に富士山北面より流れ出た鷹丸尾溶岩流の上に形成された地域の歴史を歩きます。ここに暮らす住民は、溶岩流の上に山を鎮める神社を建立し旧鎌倉往還沿いには白観音や稲荷様を祀りました。近年、溶岩流の上には丸尾地区の街並みが形成され、沖新畑・花の都公園や、紅富士の湯などの観光施設が見受けられます。戦後の米軍駐留期を経て形作られた地域の歴史を感じながら、道跡や旧鎌倉往還、花の都公園を経由し、梁尻通りを抜け、湖畔・諏訪神社に戻る散策コースです。

## 5 花の都公園

県道717号線を忍野村内野方面へ向かいます。季節の花が楽しめる約30万㎡の「花の都公園」は、丸尾地区と同様に鷹丸尾溶岩流の上に造られた公園です。この場所は、昭和30年代に溶岩台地を切り開いて土壌を運び込み水田として開墾され「沖新畑」と呼ばれました。通りの左には、かつてこの周辺を覆っていたハリモミの樹が見られます。(国指定の天然記念物で、何万本ものハリモミが純林として溶岩流の上に孤立して発達したもの。江戸時代「梁尻御立林」とも言われた。) また、公園内を桂川の一部が流れています。特定の場所では7月中旬にヘイケボタルを観察することもできます。

コガラ



ミスナラ



東富士五湖道

リンドウ



## 3 山中出口稲荷神社

本殿前を、往古より甲駿往還が通っており、往還を歩く「馬」の慰霊・安全を願い、ここに小祠が建立されました。参道には、赤い鳥居が何段にも重なっています。国道から数メートル神社に入った場所に、参道を横切る形でくぼみがあり、そのくぼみが往還です。往還は国道を横切り、ファナック通りを抜け忍野村忍草を経て平山峠鐘山のウラから富士吉田市に入ります。神社横から演習地に向かって西に延びる道は昭和20年代米軍が駐留していたキャンプ・マクネアに山中湖から水を送るパイプラインが通っていた痕跡です。

## 2 高原山野草を見ながら旧道を。

ふれあい広場から入会組合・白観音を左に、旧道を北西に歩きます。この道が山中と忍野・吉田をつなぐ昔の道です。かつて住民はこの道で荷馬・駄馬を引き、「駄賃付け」をなっていました。組合敷地内には「いこいの森・散歩みち(紅富士の湯 向かい)」があり溶岩流の上に育った高原山野草を観察できます。いこいの森では薪取りや下刈りの為に伐採されたナラの木の跡も見られます。原木は途中から切られることで、そこから小枝(ひこばえ)が伸びしばらくすると再生します。森林を破壊しない祖先の知恵です。白観音は3メートルほどの尾根の上に鎮座し、外敵や獣害防止と住民の旅の安全祈願場所として建てられたようです。

## 1 旧鎌倉往還と馬車道、国道138号線

山中諏訪神社と浅間神社をつなぐ赤い橋が国道138号線の上を跨ぎます。現在国道138号線となっている橋の下の道は、硬い溶岩を掘り進み湖畔道に繋げる道として戦後の米軍駐留期に整備されました。すなわちこの橋の高さが、約1200年前、山中地区に流れきた鷹丸尾溶岩流の厚みです。集落の氏神様である浅間神社は御山の鎮火を願っています。境内の大木にはムササビの巣穴も見られます。また、参道を下った右側の林の中を旧鎌倉往還が通っています。山中宿中通り(鎌倉往還)には明治時代に馬車鉄道が開通して東海道と甲府方面を結ぶ物資輸送路としての役目を果たしました。

## 4 ハーブ通り

基盤の目のように縦横に道路が走る丸尾地区。山中区において、新たに溶岩台地の上の林を切り開き形成された住宅街です。通りにはそれぞれ花の名前がつけられ、手入れが行き届いた庭を持つ家々が立ち並びます。通りの名前を6つ並べると、○ ○ ○ ○ ○ ○ となります。

## 8 金刀比羅宮

ホテルマウント富士の登り口に建立されている「金刀比羅宮」は讃岐の金刀比羅宮より分霊をし、水上安全と豊漁を祈願しています。急な階段を登ると小さな祠が鎮座し木々の間から湖水と山中集落富士の裾野を眺望できるスポットでもあり「富士山に一番近い湖」を実感できます。

## 9 岡田紅陽「山中湖の夕景」

昭和4年、この場所から写真家の岡田紅陽が撮影した「山中湖の夕景」は、まだ湖畔沿いの道もなく溶岩流の川底を削りながら流れ出る桂川 湖畔まで迫った雑木林の向うに富士山の夕景が写る、90年以上の時の流れを感じさせる作品です。ここから流れ出た水は忍野・富士吉田・相模湖を経て113キロ、相模湾に注ぎます。

## 6 桂川沿いのサイクリング道を湖畔に向かいます。

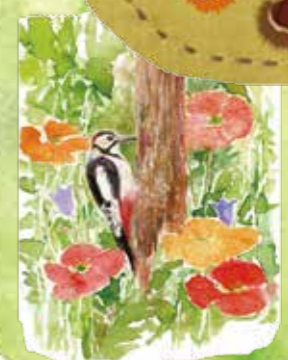
川岸の緑、農地と調和した水辺と、その奥に広がる富士の裾野が潤いのある田園風景を形成しています。このあたりは、冬季に「ダイヤモンド富士」の撮影ポイントとしてにぎわいます。川は忍野村内野地区への農業用とし「内野用水」として分枝されています。上流には昔、水車小屋も有り有効活用が図られていました。

## 7 梁尻通り

「梁尻通り」は山中・長池方面から吉田・忍野に抜ける為の古道でした。昭和初期より避暑のための別荘地として山中湖において最初に開発され政財界人の別荘が多く建てられた風情ある通りです。一間あまりの通り沿いには地域の住民が設置したベンチやプランターが点在し、ヒノキ、ブナ、ナラやカラマツなどの巨木が緑のトンネルを作り出し、今でも美しい景観が保たれています。この地域の小字名「梁尻」も、桂川の流れ出しに木枝で堰を作り漁労をしていた歴史から来ているようです。

# ぶらり

裏みち



アカゲラ



ホテルマウント富士の桜並木

ホテルマウント富士



カワセミ



カワセミ



内野用水旧隧道跡

県道 729

